

温室効果ガス排出量の推移（単位は千 t-CO₂）

年度		基準年度	過年度					現状年度
		2013 (H25)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)
ガス別温室効果ガス排出量								
二酸化炭素		1,057.1	981.9	975.7	949.7	902.3	887.4	898.8
メタン		15.5	15.0	15.2	15.0	15.2	15.9	9.1
一酸化二窒素		1.9	1.9	1.8	1.8	1.9	1.8	0.5
部門別温室効果ガス排出量								
エネルギー起源 CO ₂	産業部門	433.5	402.0	405.2	382.0	369.3	363.9	373.0
	家庭部門	188.8	179.2	176.8	178.4	160.4	162.1	158.0
	業務その他部門	186.5	164.6	159.6	152.2	147.7	132.2	149.8
	運輸部門	240.4	228.3	224.2	227.4	216.6	214.0	203.1
エネルギー起源 CO ₂ 以外	廃棄物処理	20.6	20.2	22.4	22.1	20.8	28.6	15.6
	農業	4.7	4.6	4.5	4.5	4.5	4.4	9.0
合計		1074.5	998.9	992.7	966.6	919.3	905.1	908.5

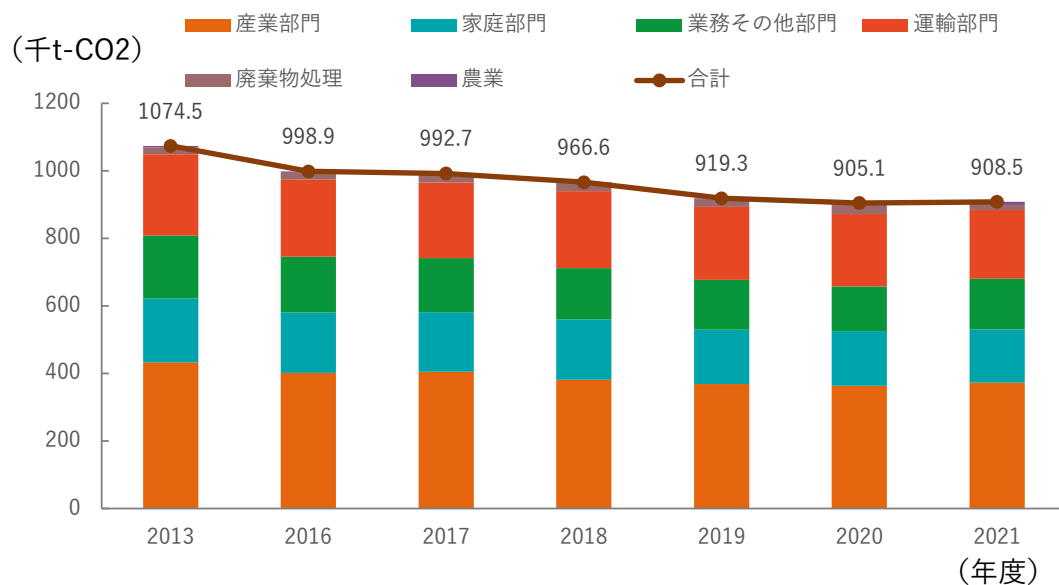
注）端数処理の関係上、各温室効果ガス排出量の和や比が合計値や基準年度比と合わない場合がある。

注）2020年度から新たな算定方法を採用している。また、代替フロン類は算定対象外となったため、過去分に関しても除外した。

【資料：第3次焼津市環境基本計画策定業務報告書等を参照】

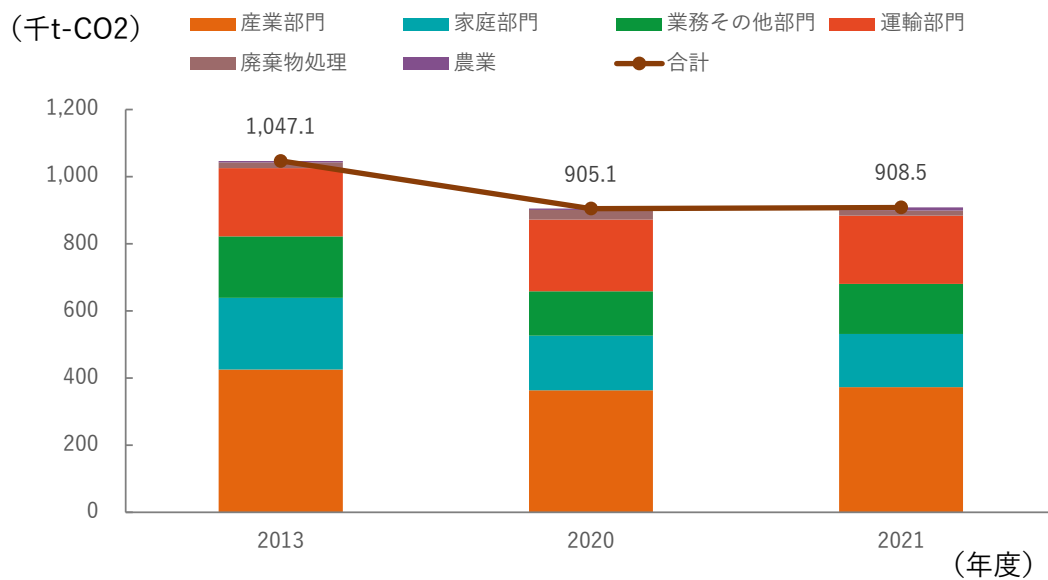
現状年度における基準年度との比較（単位は千 t-CO₂）

		基準年度(現状年度と同じ算定 方法により算定)	現状年度	
		2013(H25)	2021(R3)	2013 年度比
部門別温室効果ガス排出量				
エネルギー起源 CO ₂	産業部門	425.5	373.0	0.88
	家庭部門	213.7	158.0	0.74
	業務その他部門	183.0	149.8	0.82
	運輸部門	203.3	203.1	1.00
エネルギー起源 CO ₂ 以外	廃棄物処理	17.1	15.6	0.91
	農業	4.6	9.0	1.96



部門別温室効果ガス排出量の推移

注) 2020 年度から新たな算定方法を採用している。また、代替フロン類は算定対象外となったため、過去分に関しても除外した。



新算定方法での部門別温室効果ガス排出量の推移